

法隆寺金堂壁画 保存活用委員会について

平成30年7月17日
古墳壁画の保存活用に関する検討会

- 平成27年12月5日 保存活用委員会 発足
- 年1回の委員会とワーキンググループの開催
- 年1回の公開シンポジウムの開催

- 保存活用委員会 メンバー
(建築史・彫刻史・建築構造・絵画史・
保存科学等 16名)
- 委員会の下にワーキングの設置
保存環境／美術史／壁画材料／
建築部材／アーカイブ

保存環境WG

- 収蔵庫内の温湿度環境について調査を行い、
保存環境の現状把握を進めている
- 焼損壁画の保管されている収蔵室だけでは
なく、各室の温湿度データ、小屋裏などの構
造や断熱などの
現地調査を併せ
ている。





保存環境WG

- 現地調査から、収蔵庫全体の現状の確認
- 温湿度、CO2濃度の数値解析モデルを作成し、それを用いた収蔵庫内の現状の再現を行った。
- 温湿度の環境条件を元に生物による文化財劣化のリスク評価を簡易に評価できる方法の検討を行った。
- 数値解析モデルにより入室時期、入室方法、換気方法の検討を行った。

壁画WG(美術史班)

- 金堂小壁飛天図のクリーニング・写真撮影の実施
- 山中羅漢図等の調査・写真撮影の実施



壁画WG(美術史班)

- 今後は、金堂壁画全体の調査・写真撮影の計画、関連文化財の調査や原寸大撮影のガラス乾板等のデジタル化の検討を進める予定

壁画WG(材料調査班)

- 漆喰試料を用いたX線透過撮影の試験の実施
- 山中羅漢図等の観察と調査内容の検討
- 今後は山中羅漢図の画像調査、壁体の構造調査等を行う予定
- 小壁飛天の画像調査、壁体の構造調査等を進め、焼損壁画の調査手法の検討を進める。

アーカイブWG

- 金堂壁画(小壁飛天図)の現状の記録(写真撮影)の実施
- 今回の「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」の活動記録
- 昭和時代の壁画保存事業に関する調査(主に法隆寺蔵資料)の実施
- 収蔵庫の建物調査の実施

アーカイブWG

- 金堂壁画(小壁飛天図)の現状の記録(写真撮影)の実施
- 今回の「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」の活動記録
- 昭和時代の壁画保存事業に関する調査(主に法隆寺蔵資料)を行い、目録化・デジタル化を進める
- 収蔵庫の建物調査を行い、歴史的な価値についても検討を進める

- 収蔵庫の保存活用を検討するために、耐震調査の必要性
- 壁画の調査では、3Dデータも取得してほしい
- 同時期の壁画資料の調査を進めることは、焼損壁画の調査にも役立つ知見が得られる
等、委員会の委員からの意見をふまえ、今後
も保存活用にかかる検討が進められる